

1. 教育目標 心を開き、ありのままの自分を

表現できる子どもの育成

子どもによって表現の形や場は様々です。歌、踊り、運動、絵、文章、言葉等、様々な表現方法がありますが、どんな場合であってもありのままの自分を素直に表現してほしいと思います。

そして、間違いや失敗をしたとしても、そこから何かを学びとり、自分自身の成長に生かしていただけるたくましさも身につけてほしいと考えています。

【めざす学校像】

児童にとっても、教職員にとっても居心地がよく、常に自分の居場所がある学校

【めざす子ども像】

- ① 学ぶ喜びを知り、世界を視野に入れながら、
ふるさと安来・荒島を愛し、自分の言葉で語れる子
- ② 協働する喜びを知り、さらに自分を磨いていける子
- ③ 汗を流す喜びを知り、からだづくりができる子



2. 今年度の重点目標

① バランスのとれた学力育成と個に応じた指導の充実

○ 3つの学力のバランスのとれた育成

- ・「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性」という3つの学力をバランスよく育成する。

○ 個別指導の工夫

- ・ここにこサポート事業、少人数指導等の効果的な活用による個のつまずきへの支援や発展課題等の支援による学力保障

○ 家庭学習の習慣化

- ・「家庭学習の手引き」による子どもや保護者への働きかけ、家庭学習の習慣化による学習意欲の喚起、単元末の子どもの姿の実現に向けた家庭学習の在り方

② 積極的な生徒指導及び児童の自尊感情を高める取組の推進

○ あたりまえのことがあたりまえにできる

「基本的な生活習慣の定着」を目指す日常指導の徹底

- ・望ましい生活習慣を身につけた子どもを全職員で育てる

○ 積極的な生徒指導の推進

- ・日々の授業の充実を柱に、日常観察、アンケート QU、教育相談 SCとの連携等の積極的な活用による適切な対応

○ 問題行動への初期対応と情報の共有化による組織的な指導

- ・学校全体でスピード感と具体性と安定感のある対応



③児童を「学びの主役」とする授業研究の推進

○研究推進体制の確立と充実

- ・推進体制、研究授業・協議、研修活動等の充実、全員参加の研究体制

○汎用性のある「荒島授業スタイル」の確立

- ・「どの学級でも」「どの指導者でも」「どの教科でも」指導がぶれない指導理念・授業スタイルの確立、誰にもわかりやすい授業づくり

○目指す子どもの姿及び目指す学力に結びつく研究活動

- ・成果として、子どもが「もっと学びたい」「友達と学ぶことは楽しい」「新しいことを知ることは楽しい」という割合を高めることのできる実践的な研究

④全ての教育活動の基底に据えた人権・同和教育の推進

○一人ひとりの自己実現を支援する「進路保障」の考え方に立った

日常指導（教科等、学校生活）の充実

○教職員の人権・同和教育観の確立と研修の充実

- ・人権に関する教職員の日常的な切磋琢磨と人権意識の高揚のための研修、推進体制の確立（授業・研修の充実）

⑤読書活動の推進と学校図書館活用教育の推進

○様々な読書活動の推進と本に親しむ環境作り

- ・読み聞かせ（お話タイム）、朝読書、教科学習、休憩時等の読書の奨励と意識付け

○学校図書館活用教育の推進による学力育成

- ・「本に手をのばす子」を育成し、学びに本を活用し、「活用」の力を育成、教科、総合的な学習の時間等の指導における学校図書館活用での司書教諭・学校司書との連携の強化

⑥個に応じた特別支援教育の推進

○「ユニバーサルデザイン化」による授業の改善

- ・「支援を要する児童に必要な支援は、それ以外の児童にも有効な支援」の拡大

○特別支援教育コーディネーターとの連携強化

- ・特別支援教育コーディネーターを核とした児童についての情報、具体的な支援、支援方法の共有

⑦地域の特色を活かしたふるさと教育の推進

○地域の教育力を生かした活動の推進

- ・梨作り（3年）・水質調査（4年）・亀治米（5年）・古墳（6年）等の活動の実施
- ・ふるさと「荒島」に誇りと愛着が持てるふるさと教育の充実

○小中連携教育の成果や課題を踏まえた積極的な取組の推進

- ・安来三中校区の連携教育の成果と課題を踏まえた取組の推進

○教育課程の適切な評価と改善

- ・学校評価委員による評価、児童・保護者等アンケートの結果・分析による改善